

誤

1 素材需給の動向
(1) 素材の需要

平成26年の素材の需要量は2,558万²千^mで、前年に比べて44万⁷千^m (1.7%) 減少した。
これを需要部門別にみると、製材用は1,666万1千^m、合板用は440万5千^m、木材チップ用は451万⁶千^mで、前年に比べて合板用が22万4千^m (5.4%) 増加したものの、製材用は61万^m (3.5%)、木材チップ用は⁶万¹千^m (1.3%) 減少した。
この結果、需要部門別の構成割合は、製材用が65.1%、合板用が17.2%、木材チップ用が17.7%となった(表1、図1)。

表1 需要部門別素材需要量 単位: 千^m

年次	計	製材用	合板用	木材チップ用	
					実数
実数	26,029	17,271	4,181	4,577	
平成25年	26,582	16,661	4,405	4,516	
26	98.3	96.5	105.4	98.7	
対前年比 (%)	100.0	66.4	16.1	17.6	
構成比 (%)	26	100.0	65.1	17.2	17.7

注: 構成比 (%) は、四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある (以下の表において同じ。)

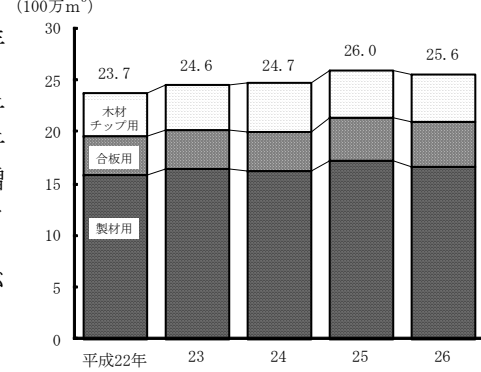
(2) 素材の供給

素材の供給量は、国産材が1,991万³千^mで、前年に比べて26万⁷千^m (1.4%) 増加した。
また、外材は566万9千^mで、前年に比べて71万4千^m (11.2%) 減少した。
この結果、素材供給量に占める国産材の割合は77.8%となり、前年を2.3ポイント上回った(表2、図2)。

表2 需要部門別、材種別素材供給量 単位: 千^m

区分	計	国産材				外材							
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材			米材	北洋材	ニューズランド材	その他	
						ラワン材	米材	北洋材					
実数	平成25年	計	26,029	19,646	17,246	2,400	6,383	288	213	4,796	458	661	180
	平成26年	計	26,582	19,913	17,741	2,172	5,669	304	221	4,238	436	524	167
対前年比 (%)	計	98.3	101.4	102.9	90.5	88.8	105.6	103.8	88.4	95.2	79.3	92.8	
構成比 (%)	計	100.0	77.8	69.3	8.5	22.2	1.2	0.9	16.6	1.7	2.0	0.7	

図1 素材需要量の推移

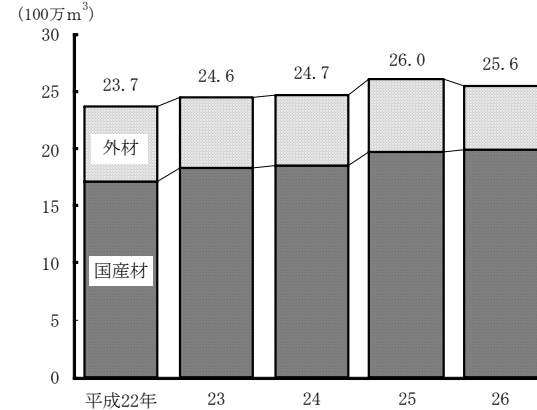


(参考) 関連統計表

年次	1) 新設住宅着工戸数		2) 紙・板紙生産量		3) 製紙パルプ生産量	
	千戸	千戸	千t	千t	千t	千t
平成26年	892	489	26,479	8,952		
対前年比 (%)	91.0	89.0	100.9	102.1		

資料: 1) 国土交通省『建築着工統計』
2) 経済産業省『生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編』

図2 材種別素材供給量の推移



正

1 素材需給の動向
(1) 素材の需要

平成26年の素材の需要量は2,558万⁵千^mで、前年に比べて44万⁴千^m (1.7%) 減少した。
これを需要部門別にみると、製材用は1,666万1千^m、合板用は440万5千^m、木材チップ用は451万⁹千^mで、前年に比べて合板用が22万4千^m (5.4%) 増加したものの、製材用は61万^m (3.5%)、木材チップ用は⁵万⁸千^m (1.3%) 減少した。
この結果、需要部門別の構成割合は、製材用が65.1%、合板用が17.2%、木材チップ用が17.7%となった(表1、図1)。

表1 需要部門別素材需要量 単位: 千^m

年次	計	製材用	合板用	木材チップ用	
					実数
実数	26,029	17,271	4,181	4,577	
平成25年	26,585	16,661	4,405	4,519	
26	98.3	96.5	105.4	98.7	
対前年比 (%)	100.0	66.4	16.1	17.6	
構成比 (%)	26	100.0	65.1	17.2	17.7

注: 構成比 (%) は、四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある (以下の表において同じ。)

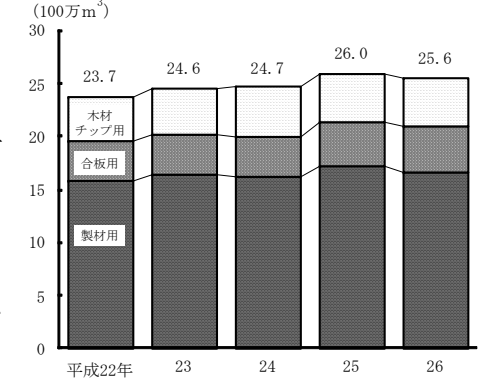
(2) 素材の供給

素材の供給量は、国産材が1,991万⁶千^mで、前年に比べて27万^m (1.4%) 増加した。
また、外材は566万9千^mで、前年に比べて71万4千^m (11.2%) 減少した。
この結果、素材供給量に占める国産材の割合は77.8%となり、前年を2.3ポイント上回った(表2、図2)。

表2 需要部門別、材種別素材供給量 単位: 千^m

区分	計	国産材				外材							
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材			米材	北洋材	ニューズランド材	その他	
						ラワン材	米材	北洋材					
実数	平成25年	計	26,029	19,646	17,246	2,400	6,383	288	213	4,796	458	661	180
	平成26年	計	26,585	19,916	17,743	2,173	5,669	304	221	4,238	436	524	167
対前年比 (%)	計	98.3	101.4	102.9	90.5	88.8	105.6	103.8	88.4	95.2	79.3	92.8	
構成比 (%)	計	100.0	77.8	69.3	8.5	22.2	1.2	0.9	16.6	1.7	2.0	0.7	

図1 素材需要量の推移

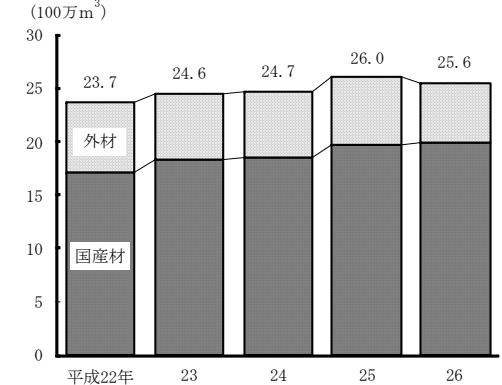


(参考) 関連統計表

年次	1) 新設住宅着工戸数		2) 紙・板紙生産量		3) 製紙パルプ生産量	
	千戸	千戸	千t	千t	千t	千t
平成26年	892	489	26,479	8,952		
対前年比 (%)	91.0	89.0	100.9	102.1		

資料: 1) 国土交通省『建築着工統計』
2) 経済産業省『生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編』

図2 材種別素材供給量の推移



誤

ア 国産材の供給

国産材の供給量（全国計のみ素材生産量と等しい。）を針葉樹、広葉樹別にみると、針葉樹は1,774万1千³m³で、全ての需要部門で生産量が増加したことから、前年に比べて49万5千³m³（2.9%）増加した。これを樹種別にみると、えぞまつ・とどまつは、前年に比べて5万4千³m³（5.3%）減少したが、素材供給量の6割弱を占めるすぎは、前年に比べて29万1千³m³（2.7%）、ひのき、からまつ及びあかまつ・くろまつは、前年に比べてそれぞれ9万5千³m³（4.1%）、10万6千³m³（4.7%）、5万³m³（8.0%）増加した。また、広葉樹は217万2千³m³で、製材用及び木材チップ用の生産量が減少したことから、前年に比べて22万8千³m³（9.5%）減少した（表2及び3、図3）。

図3 樹種別素材生産量の推移

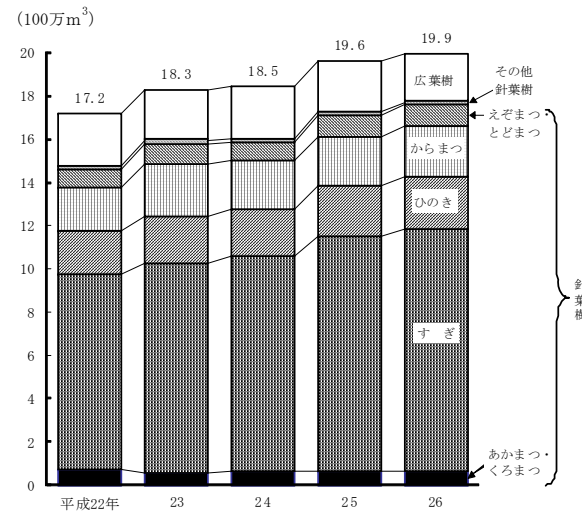


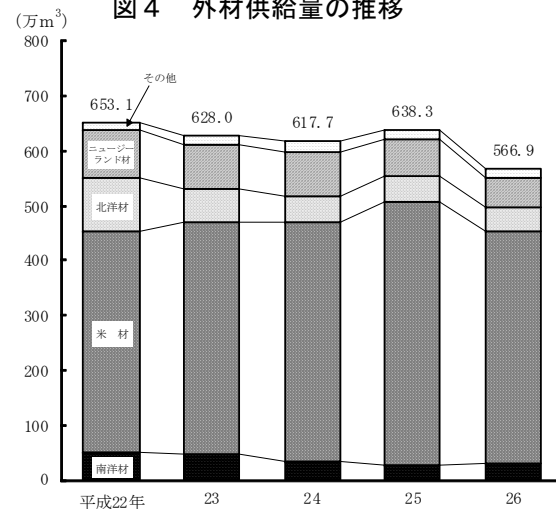
表3 需要部門別、樹種別素材生産量

区分	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつ・くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ・とどまつ	その他	
実数 平成25年									
計	19,646	17,246	624	10,902	2,300	2,263	1,012	145	2,400
製材用	12,058	11,932	137	7,825	1,953	1,154	805	58	126
合板用	3,016	3,006	142	1,922	104	733	91	14	10
木材チップ用	4,572	2,308	345	1,155	243	376	116	73	2,264
実数 平成26年									
計	19,913	17,741	674	11,193	2,395	2,369	958	152	2,172
製材用	12,211	12,116	176	7,872	2,039	1,270	704	55	95
合板用	3,191	3,177	152	2,111	126	681	94	13	14
木材チップ用	4,511	2,448	346	1,210	230	418	160	84	2,063
対前年比(%)									
計	101.4	102.9	108.0	102.7	104.1	104.7	94.7	104.8	90.5
製材用	101.3	101.5	128.5	100.6	104.4	110.1	87.5	94.8	75.4
合板用	105.8	105.7	107.0	109.8	121.2	92.9	103.3	92.9	140.0
木材チップ用	98.7	106.1	100.3	104.8	94.7	111.2	137.9	115.1	91.1
構成比(%)									
計	100.0	89.1	3.4	56.2	12.0	11.9	4.8	0.8	10.9
製材用	100.0	99.2	1.4	64.5	16.7	10.4	5.8	0.5	0.8
合板用	100.0	99.6	4.8	66.2	3.9	21.3	2.9	0.4	0.4
木材チップ用	100.0	54.3	7.7	26.8	5.1	9.3	3.5	1.9	45.7

イ 外材の供給

外材の供給量を産地材別にみると、南洋材は30万4千³m³で、前年に比べて1万6千³m³（5.6%）増加したものの、外材の7割強を占める米材は423万8千³m³、ニュージーランド材は52万4千³m³、北洋材は43万6千³m³で、前年に比べてそれぞれ55万8千³m³（11.6%）、13万7千³m³（20.7%）、2万2千³m³（4.8%）減少した（表2、図4）。

図4 外材供給量の推移



正

ア 国産材の供給

国産材の供給量（全国計のみ素材生産量と等しい。）を針葉樹、広葉樹別にみると、針葉樹は1,774万3千³m³で、全ての需要部門で生産量が増加したことから、前年に比べて49万7千³m³（2.9%）増加した。これを樹種別にみると、えぞまつ・とどまつは、前年に比べて5万4千³m³（5.3%）減少したが、素材供給量の6割弱を占めるすぎは、前年に比べて29万2千³m³（2.7%）、ひのき、からまつ及びあかまつ・くろまつは、前年に比べてそれぞれ9万5千³m³（4.1%）、10万6千³m³（4.7%）、5万³m³（8.0%）増加した。また、広葉樹は217万3千³m³で、製材用及び木材チップ用の生産量が減少したことから、前年に比べて22万7千³m³（9.5%）減少した（表2及び3、図3）。

図3 樹種別素材生産量の推移

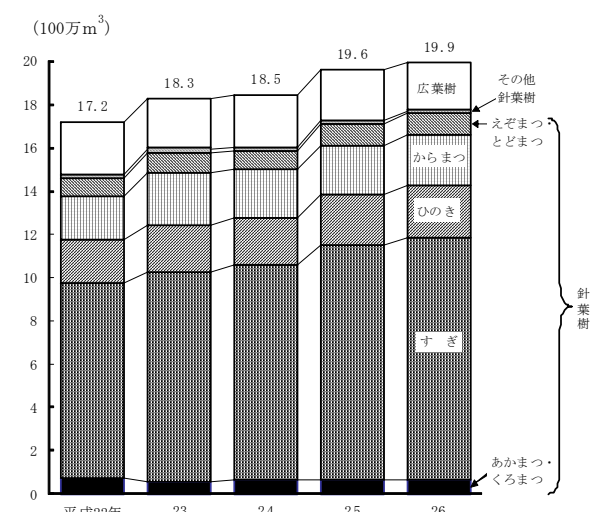


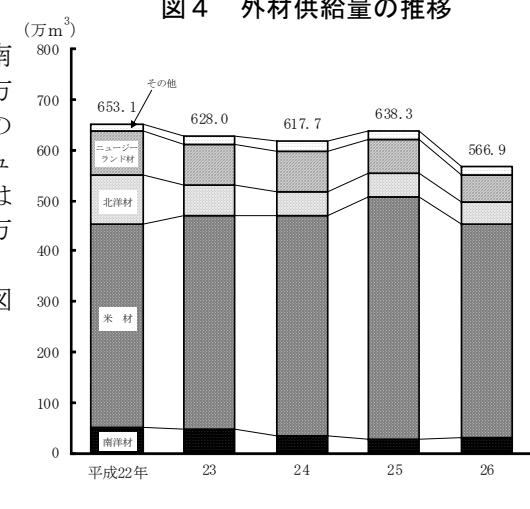
表3 需要部門別、樹種別素材生産量

区分	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつ・くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ・とどまつ	その他	
実数 平成25年									
計	19,646	17,246	624	10,902	2,300	2,263	1,012	145	2,400
製材用	12,058	11,932	137	7,825	1,953	1,154	805	58	126
合板用	3,016	3,006	142	1,922	104	733	91	14	10
木材チップ用	4,572	2,308	345	1,155	243	376	116	73	2,264
実数 平成26年									
計	19,916	17,743	674	11,194	2,395	2,369	958	153	2,173
製材用	12,211	12,116	176	7,872	2,039	1,270	704	55	95
合板用	3,191	3,177	152	2,111	126	681	94	13	14
木材チップ用	4,514	2,450	346	1,211	230	418	160	85	2,064
対前年比(%)									
計	101.4	102.9	108.0	102.7	104.1	104.7	94.7	105.5	90.5
製材用	101.3	101.5	128.5	100.6	104.4	110.1	87.5	94.8	75.4
合板用	105.8	105.7	107.0	109.8	121.2	92.9	103.3	92.9	140.0
木材チップ用	98.7	106.2	100.3	104.8	94.7	111.2	137.9	116.4	91.2
構成比(%)									
計	100.0	89.1	3.4	56.2	12.0	11.9	4.8	0.8	10.9
製材用	100.0	99.2	1.4	64.5	16.7	10.4	5.8	0.5	0.8
合板用	100.0	99.6	4.8	66.2	3.9	21.3	2.9	0.4	0.4
木材チップ用	100.0	54.3	7.7	26.8	5.1	9.3	3.5	1.9	45.7

イ 外材の供給

外材の供給量を産地材別にみると、南洋材は30万4千³m³で、前年に比べて1万6千³m³（5.6%）増加したものの、外材の7割強を占める米材は423万8千³m³、ニュージーランド材は52万4千³m³、北洋材は43万6千³m³で、前年に比べてそれぞれ55万8千³m³（11.6%）、13万7千³m³（20.7%）、2万2千³m³（4.8%）減少した（表2、図4）。

図4 外材供給量の推移



誤

正

(3) 木材チップ製造業

ア 木材チップ工場数及び従業者数

平成26年12月31日現在の木材チップ工場数は1,455工場、前年に比べて55工場(3.6%)減少した。

これを専門・兼営区分別にみると、製材又は合単板工場との兼営工場は1,070工場、木材チップ専門工場は385工場で前年に比べそれぞれ51工場(4.5%)、4工場(1.0%)減少した。

また、木材チップ工場の従業者数(製材又は合単板工場との兼営工場の従業者のうち、主たる業務が木材チップ業務以外のものを除く。)は2,850人で、前年に比べて111人(3.7%)減少した。

なお、1工場当たりの従業者数は2.0人で、前年並みだった(表14)。

表14 専門・兼営区分別、従業者数規模別木材チップ工場数及び従業者数(平成26年12月31日現在)

専門・兼営区分別	従業者数規模別工場数						従業者数		1工場当たり従業者数
	計		4人以下	5~9	10~19	20人以上	実数	対前年比	
	実数	対前年比							
平成25年計	1,510	98.3	1,298	152	51	9	2,961	102.8	2.0
木材チップ専門工場	389	100.0	200	132	50	7
製材又は合単板工場との兼営工場	1,121	97.7	1,098	20	1	2
平成26年計	1,455	96.4	1,257	141	49	8	2,850	96.3	2.0
木材チップ専門工場	385	99.0	209	122	47	7
製材又は合単板工場との兼営工場	1,070	95.5	1,048	19	2	1

注：従業者数については、「木材チップ専門工場」及び「製材又は合単板工場との兼営工場」別に集計を行っていない。

イ 木材チップ用素材入荷量

平成26年の木材チップ用の素材入荷量は451万6千³m³で、前年に比べて6万1千³m³(1.3%)減少した。

これを国産材、外材別にみると、国産材の入荷量は451万1千³m³で、前年に比べ6万1千³m³(1.3%)減少したものの、外材の入荷量は5千³m³で、前年並みだった(表15、図11)。

図11 木材チップ用素材の入荷量の推移

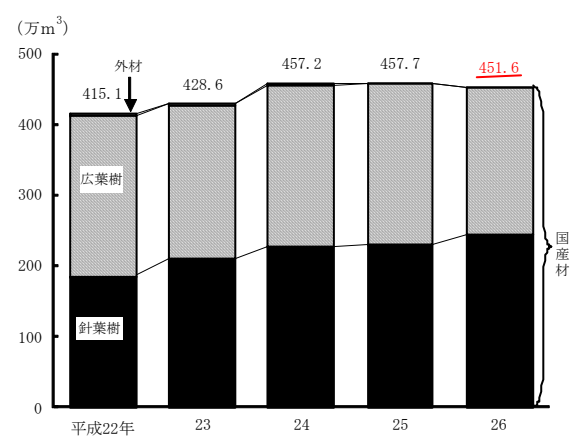


表15 材種別木材チップ製造用素材の入荷量

単位：千³m

年次	計	国産材			外材							
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	ラワン材		米材	北洋材	ニューズランド材	その他
							ラワン材	その他				
実数 平成25年	4,577	4,572	2,308	2,264	5	1	1	2	x	x	-	
26	4,516	4,511	2,448	2,063	5	-	-	4	1	-	-	
対前年比(%)	98.7	98.7	106.1	91.1	100.0	-	-	200.0	x	x	nc	
構成比(%) 平成25年	100.0	99.9	50.4	49.5	0.1	-	-	-	x	x	-	
26	100.0	99.9	54.2	45.7	0.1	-	-	0.1	0.0	-	-	

(3) 木材チップ製造業

ア 木材チップ工場数及び従業者数

平成26年12月31日現在の木材チップ工場数は1,477工場、前年に比べて33工場(2.2%)減少した。

これを専門・兼営区分別にみると、製材又は合単板工場との兼営工場は1,092工場、木材チップ専門工場は385工場で前年に比べそれぞれ29工場(2.6%)、4工場(1.0%)減少した。

また、木材チップ工場の従業者数(製材又は合単板工場との兼営工場の従業者のうち、主たる業務が木材チップ業務以外のものを除く。)は2,853人で、前年に比べて108人(3.6%)減少した。

なお、1工場当たりの従業者数は1.9人で、前年に比べて0.1人(5.0%)減少した。(表14)。

表14 専門・兼営区分別、従業者数規模別木材チップ工場数及び従業者数(平成26年12月31日現在)

専門・兼営区分別	従業者数規模別工場数						従業者数		1工場当たり従業者数
	計		4人以下	5~9	10~19	20人以上	実数	対前年比	
	実数	対前年比							
平成25年計	1,510	98.3	1,298	152	51	9	2,961	102.8	2.0
木材チップ専門工場	389	100.0	200	132	50	7
製材又は合単板工場との兼営工場	1,121	97.7	1,098	20	1	2
平成26年計	1,477	97.8	1,279	141	49	8	2,853	96.4	1.9
木材チップ専門工場	385	99.0	209	122	47	7
製材又は合単板工場との兼営工場	1,092	97.4	1,070	19	2	1

注：従業者数については、「木材チップ専門工場」及び「製材又は合単板工場との兼営工場」別に集計を行っていない。

イ 木材チップ用素材入荷量

平成26年の木材チップ用の素材入荷量は451万9千³m³で、前年に比べて5万8千³m³(1.3%)減少した。

これを国産材、外材別にみると、国産材の入荷量は451万4千³m³で、前年に比べ5万8千³m³(1.3%)減少したものの、外材の入荷量は5千³m³で、前年並みだった(表15、図11)。

図11 木材チップ用素材の入荷量の推移

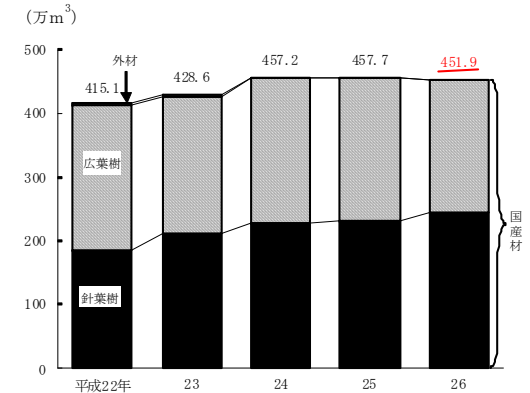


表15 材種別木材チップ製造用素材の入荷量

単位：千³m

年次	計	国産材			外材							
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	ラワン材		米材	北洋材	ニューズランド材	その他
							ラワン材	その他				
実数 平成25年	4,577	4,572	2,308	2,264	5	1	1	2	x	x	-	
26	4,519	4,514	2,450	2,064	5	-	-	4	1	-	-	
対前年比(%)	98.7	98.7	106.2	91.2	100.0	-	-	200.0	x	x	nc	
構成比(%) 平成25年	100.0	99.9	50.4	49.5	0.1	-	-	-	x	x	-	
26	100.0	99.9	54.2	45.7	0.1	-	-	0.1	0.0	-	-	

誤

ウ 木材チップ生産量及び出荷量

平成26年の木材チップ生産量は584万4千tで、前年に比べて60万8千t（9.4%）減少した。

これを原材料別にみると、全ての原材料で減少しており、前年に比べて素材（原木）は7万5千t（2.9%）、工場残材は3万t（1.5%）、解体材・廃材は、47万1千t（27.8%）、林地残材3万2千t（22.5%）、それぞれ減少した。

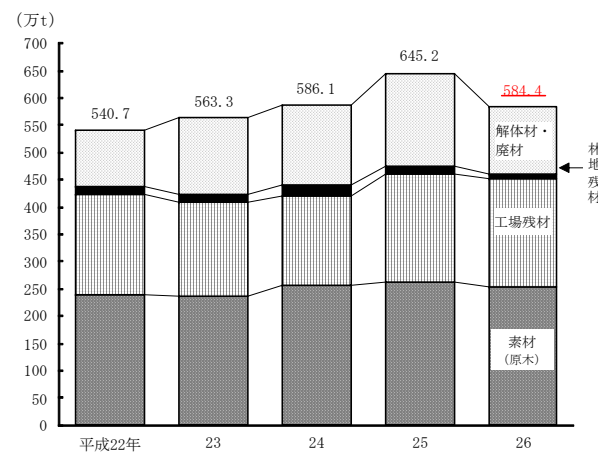
また、針葉樹・広葉樹別にみると、針葉樹は321万6千tで前年に比べて9千t（0.3%）増加したものの、広葉樹は140万5千tで前年に比べて14万6千t（9.4%）減少した（表16、図12）。

表16 木材チップ生産量

区 分	平成25年	平成26年	対前年比	構成比
	千t	千t	%	%
木材チップ生産量	6,452	5,844	90.6	100.0
原材料別				
素材（原木）	2,610	2,535	97.1	43.4
工場残材	2,006	1,976	98.5	33.8
林地残材	142	110	77.5	1.9
解体材・廃材	1,694	1,223	72.2	20.9
針葉樹・広葉樹別				
針葉樹	3,207	3,216	100.3	-
広葉樹	1,551	1,405	90.6	-

注：針葉樹・広葉樹別には解体材・廃材を含んでいない。

図12 木材チップ生産量の推移



正

ウ 木材チップ生産量及び出荷量

平成26年の木材チップ生産量は585万tで、前年に比べて60万2千t（9.3%）減少した。

これを原材料別にみると、全ての原材料で減少しており、前年に比べて素材（原木）は7万3千t（2.8%）、工場残材は2万6千t（1.3%）、解体材・廃材は、47万1千t（27.8%）、林地残材3万2千t（22.5%）、それぞれ減少した。

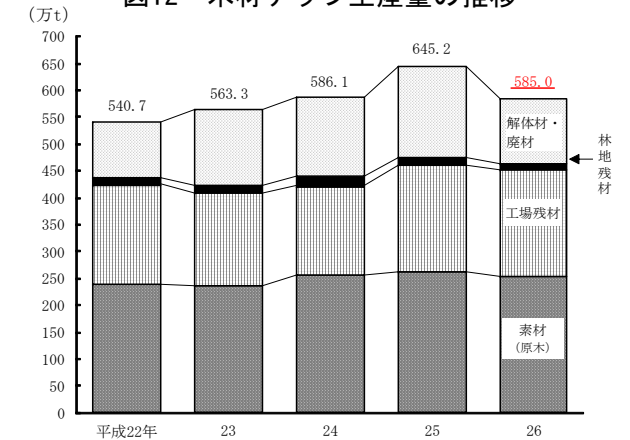
また、針葉樹・広葉樹別にみると、針葉樹は322万2千tで前年に比べて1万5千t（0.5%）増加したものの、広葉樹は140万5千tで前年に比べて14万6千t（9.4%）減少した（表16、図12）。

表16 木材チップ生産量

区 分	平成25年	平成26年	対前年比	構成比
	千t	千t	%	%
木材チップ生産量	6,452	5,850	90.7	100.0
原材料別				
素材（原木）	2,610	2,537	97.2	43.4
工場残材	2,006	1,980	98.7	33.8
林地残材	142	110	77.5	1.9
解体材・廃材	1,694	1,223	72.2	20.9
針葉樹・広葉樹別				
針葉樹	3,207	3,222	100.5	-
広葉樹	1,551	1,405	90.6	-

注：針葉樹・広葉樹別には解体材・廃材を含んでいない。

図12 木材チップ生産量の推移



平成26年木材需給報告書 正誤表

単位:千m³、%、工場、人

表番号	表題	表頭	表側	単位	誤	正			
総括表									
1-1	1 素材需給の動向 (1) 素材の需給	ア 需要部門別、供給部門別素材需給	計	実数 計	千m ³	25,582	25,585		
			国産材 小計	実数 計	千m ³	19,913	19,916		
			国産材 針葉樹	実数 計	千m ³	17,741	17,743		
			国産材 広葉樹	実数 計	千m ³	2,172	2,173		
			計	実数 木材チップ用	千m ³	4,516	4,519		
			国産材 小計	実数 木材チップ用	千m ³	4,511	4,514		
			国産材 針葉樹	実数 木材チップ用	千m ³	2,448	2,450		
			国産材 広葉樹	実数 木材チップ用	千m ³	2,063	2,064		
			国産材 針葉樹	対前年比 木材チップ用	%	106.1	106.2		
			国産材 広葉樹	対前年比 木材チップ用	%	91.1	91.2		
			イ 需要部門別素材需要量	計	実数 26年	千m ³	25,582	25,585	
				木材チップ用	実数 26年	千m ³	4,516	4,519	
		計		実数 26年	千m ³	25,582	25,585		
		国産材 小計		実数 26年	千m ³	19,913	19,916		
		国産材 針葉樹		実数 26年	千m ³	17,741	17,743		
		国産材 広葉樹		実数 26年	千m ³	2,172	2,173		
		計		実数 26年	千m ³	4,516	4,519		
		国産材 小計		実数 26年	千m ³	4,511	4,514		
		国産材 針葉樹		実数 26年	千m ³	2,448	2,450		
		国産材 広葉樹		実数 26年	千m ³	2,063	2,064		
		国産材 針葉樹		対前年比 26年	%	106.1	106.2		
		国産材 広葉樹		対前年比 26年	%	91.1	91.2		
		1-2	1 素材需給の動向 (2) 素材生産量	ア 需要部門別素材生産量	計	実数 26年	千m ³	19,913	19,916
					木材チップ用	実数 26年	千m ³	4,511	4,514
イ 樹種別、需要部門別素材生産量	計				計	千m ³	19,913	19,916	
	計				針葉樹	千m ³	17,741	17,743	
	計				すぎ	千m ³	11,193	11,194	
	計				その他	千m ³	152	153	
	計			広葉樹	千m ³	2,172	2,173		
	木材チップ用			計	千m ³	4,511	4,514		
	木材チップ用			針葉樹	千m ³	2,448	2,450		
	木材チップ用			すぎ	千m ³	1,210	1,211		
	木材チップ用			その他	千m ³	84	85		
	木材チップ用			広葉樹	千m ³	2,063	2,064		
ウ 樹種別素材生産量	計			実数 26年	千m ³	19,913	19,916		
	針葉樹 小計			実数 26年	千m ³	17,741	17,743		
	針葉樹 すぎ			実数 26年	千m ³	11,193	11,194		
	針葉樹 その他			実数 26年	千m ³	152	153		
	広葉樹			実数 26年	千m ³	2,172	2,173		
	広葉樹 その他			対前年比 26年	%	104.8	105.5		
	工場数 計			実数 26年	工場	1,455	1,477		
	工場数 専門・兼営区分別 製材又は合板工場を兼営しているもの			実数 26年	工場	1,070	1,092		
2 木材産業の動向 (3) 木材チップ製造業	ア 専門・兼業区分別、従業者数規模別木材チップ工場数及び従業者数 (12月31日現在)			工場数 従業者規模 4人以下	実数 26年	工場	1,257	1,279	
				従業者数	実数 26年	人	2,850	2,853	
				1工場当たり従業者数	実数 26年	人	2.0	1.9	
				工場数 計	対前年比 26年	%	96.4	97.8	
		工場数 専門・兼営区分別 製材又は合板工場を兼営しているもの	対前年比 26年	%	95.5	97.4			
		工場数 従業者規模 4人以下	対前年比 26年	%	96.8	98.5			
		1工場当たり従業者数	対前年比 26年	%	100.0	95.0			
		工場数 専門・兼営区分別 木材チップ専門工場	構成比 26年	%	26.5	26.1			
		工場数 専門・兼営区分別 製材又は合板工場を兼営しているもの	構成比 26年	%	73.5	73.9			
		工場数 従業者規模 4人以下	構成比 26年	%	86.4	86.6			

表番号	表題		表頭	表側	単位	誤	正
2-3 (つづき)	2 木材産業の動向 (3) 木材チップ製造業 (つづき)	イ 原材料の入手区分別、樹種別木材チップ生産量	工場数 従業者規模 5~9	構成比 26年	%	9.7	9.5
			工場数 従業者規模 10~19	構成比 26年	%	3.4	3.3
			計	実数 26年	千㎡	5,844	5,850
			入手区分別 素材 (原木)	実数 26年	千㎡	2,535	2,537
			入手区分別 工場残材 小計	実数 26年	千㎡	1,976	1,980
			入手区分別 工場残材 自己の工場から振り向けたもの	実数 26年	千㎡	1,627	1,631
			1) 樹種別 針葉樹	実数 26年	千㎡	3,216	3,222
			計	対前年比 26年	%	90.6	90.7
			入手区分別 素材 (原木)	対前年比 26年	%	97.1	97.2
			入手区分別 工場残材 小計	対前年比 26年	%	98.5	98.7
			入手区分別 工場残材 自己の工場から振り向けたもの	対前年比 26年	%	96.3	96.5
			1) 樹種別 針葉樹	対前年比 26年	%	100.3	100.5
			入手区分別 工場残材 自己の工場から振り向けたもの	構成比 26年	%	27.8	27.9
			ウ 専門・兼営区分別、従業者数規模別木材チップ生産量	生産量 計	実数 26年	千㎡	5,844
		生産量 専門・兼営区分別 製材又は合板工場を兼営しているもの		実数 26年	千㎡	2,356	2,362
		生産量 従業者数規模 4人以下		実数 26年	千㎡	3,256	3,260
		生産量 従業者数規模 5~9		実数 26年	千㎡	1,437	1,439
		生産量 計		対前年比 26年	%	90.6	90.7
		生産量 専門・兼営区分別 製材又は合板工場を兼営しているもの		対前年比 26年	%	97.0	97.2
		生産量 従業者数規模 4人以下		対前年比 26年	%	97.6	97.7
		生産量 従業者数規模 5~9		対前年比 26年	%	86.3	86.4
		生産量 専門・兼営区分別 木材チップ専門工場		構成比 26年	%	59.7	59.6
		生産量 専門・兼営区分別 製材又は合板工場を兼営しているもの		構成比 26年	%	40.3	40.4

都道府県別、地域別、月別統計

1-1-1	1 素材需給の動向 (1) 素材需要量	ア 主要部門別、自県・他県・外材別素材入荷量 (ア) 合計	計	全国	千㎡	25,582	25,585
			国産材 小計	全国	千㎡	19,913	19,916
			国産材 自県材	全国	千㎡	15,352	15,355
			計	三重	千㎡	344	347
			国産材 小計	三重	千㎡	282	285
			国産材 自県材	三重	千㎡	195	198
		(エ) 木材チップ用	計	全国	千㎡	4,516	4,519
			国産材 小計	全国	千㎡	4,511	4,514
			国産材 自県材	全国	千㎡	4,141	4,144
			計	三重	千㎡	21	24
国産材 小計	三重		千㎡	21	24		
国産材 自県材	三重		千㎡	17	20		
1-1-2	イ 主要部門別素材交流表 (ア) 合計	(ア) 合計	計	全国	千㎡	19,913	19,916
			計	三重	千㎡	282	285
			三重	全国	千㎡	272	275
			三重	三重	千㎡	195	198
		(エ) 木材チップ用	計	全国	千㎡	4,511	4,514
			計	三重	千㎡	21	24
			三重	全国	千㎡	17	20
			三重	三重	千㎡	17	20
1-2-1	ア 主要部門別素材生産量	計	全国	千㎡	19,913	19,916	
		計	三重	千㎡	272	275	
		木材チップ用	全国	千㎡	4,511	4,514	
		木材チップ用	三重	千㎡	17	20	
1-2-2	(2) 素材生産量	イ 主要部門別、樹種別素材生産量 (ア) 合計	計	全国	千㎡	19,913	19,916
			針葉樹 小計	全国	千㎡	17,741	17,743
			針葉樹 すぎ	全国	千㎡	11,193	11,194
			針葉樹 その他	全国	千㎡	152	153
		広葉樹	全国	千㎡	2,172	2,173	
		計	三重	千㎡	272	275	
		針葉樹 小計	三重	千㎡	266	268	
		針葉樹 すぎ	三重	千㎡	141	142	

表番号	表題		表頭	表側	単位	誤	正			
1-2-2 (つづき)	(2)素材生産量 (つづき)	(エ)木材チップ用	針葉樹 その他	三重	千㎡	1	2			
			広葉樹	三重	千㎡	6	7			
			計	全国	千㎡	4,511	4,514			
			針葉樹 小計	全国	千㎡	2,448	2,450			
			針葉樹 すぎ	全国	千㎡	1,210	1,211			
			針葉樹 その他	全国	千㎡	84	85			
			広葉樹	全国	千㎡	2,063	2,064			
			計	三重	千㎡	17	20			
			針葉樹 小計	三重	千㎡	13	15			
			針葉樹 すぎ	三重	千㎡	7	8			
			針葉樹 その他	三重	千㎡	0	1			
			広葉樹	三重	千㎡	4	5			
			2-3-2	(3)木材チップ製造業	ア 従業者数規模別工場数及び従業者数(12月31日現在)	合計 計	全国	工場	1,455	1,477
						合計 製材又は合板工場を兼営しているもの	全国	工場	1,070	1,092
4人以下 計	全国	工場				1,257	1,279			
4人以下 製材又は合板工場を兼営しているもの	全国	工場				1,048	1,070			
合計 計	三重	工場				38	60			
合計 製材又は合板工場を兼営しているもの	三重	工場				32	54			
4人以下 計	三重	工場				36	58			
4人以下 製材又は合板工場を兼営しているもの	三重	工場				32	54			
従業者数 計	全国	人				2,850	2,853			
従業者数 男性	全国	人				2,496	2,497			
従業者数 女性	全国	人				354	356			
従業者数 計	三重	人				26	29			
従業者数 男性	三重	人				22	23			
従業者数 女性	三重	人				4	6			
イ 木材チップ生産量 (ア)針葉樹・広葉樹別、入手区分別生産量	合計 計	全国				千㎡	5,844	5,850		
	合計 素材(原木)	全国				千㎡	2,535	2,537		
	合計 工場残材 自己の工場から振り向けたもの	全国				千㎡	1,627	1,631		
	針葉樹 計	全国				千㎡	3,216	3,222		
	針葉樹 素材(原木)	全国			千㎡	1,242	1,244			
	針葉樹 工場残材 自己の工場から振り向けたもの	全国			千㎡	1,601	1,605			
	合計 計	三重			千㎡	45	51			
	合計 素材(原木)	三重			千㎡	10	12			
	合計 工場残材 自己の工場から振り向けたもの	三重			千㎡	11	15			
	針葉樹 計	三重			千㎡	21	27			
	針葉樹 素材(原木)	三重			千㎡	7	9			
	針葉樹 工場残材 自己の工場から振り向けたもの	三重			千㎡	11	15			
	広葉樹 工場残材 自己の工場から振り向けた	三重			千㎡	-	0			
	(イ)専門・兼営区分別、入手区分別生産量	製材又は合単板工場との兼営 計			全国	千㎡	2,356	2,362		
製材又は合単板工場との兼営 計 素材(原木)		全国			千㎡	674	676			
製材又は合単板工場との兼営 工場 残材 自己の工場から振り向けたもの		全国			千㎡	1,625	1,629			
製材又は合単板工場との兼営 計		三重			千㎡	12	18			
製材又は合単板工場との兼営 計 素材(原木)		三重			千㎡	1	3			
製材又は合単板工場との兼営 工場 残材 自己の工場から振り向けたもの		三重			千㎡	11	15			
製材又は合単板工場との兼営 工場 残材 他の工場から購入したもの		三重			千㎡	-	0			
(ウ)従業者数規模別生産量	計	全国			千㎡	5,844	5,850			
	4人以下	全国			千㎡	3,256	3,260			
	5~9	全国			千㎡	1,437	1,439			
	計	三重			千㎡	45	51			